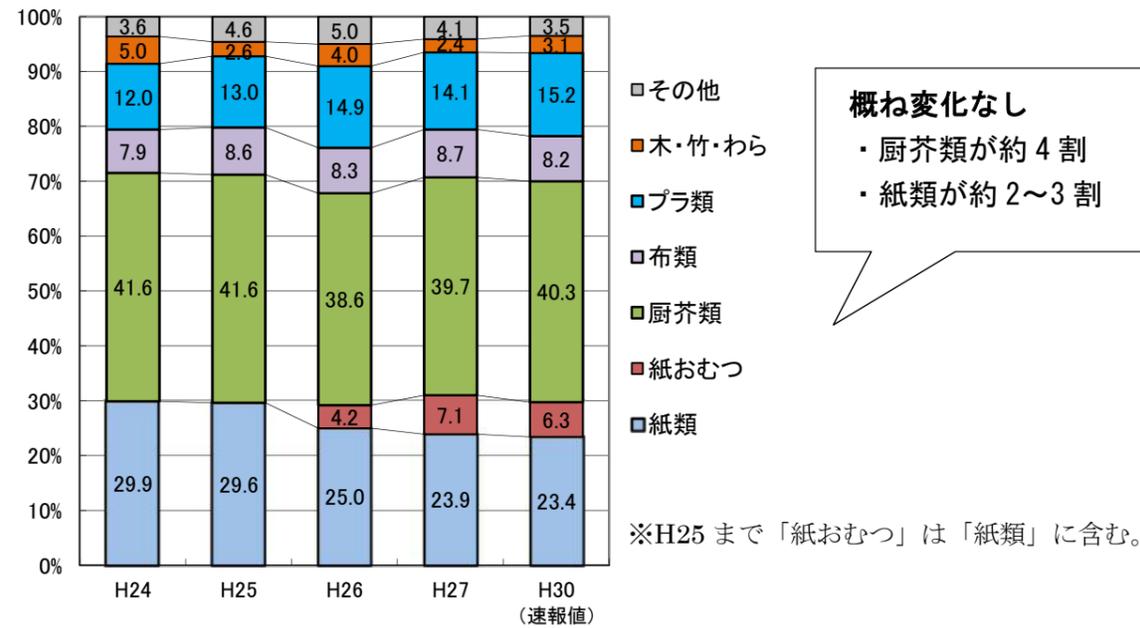


家庭系・事業系ごみの組成割合の推移（速報値）

1 家庭系ごみ

(1) 燃やすごみ

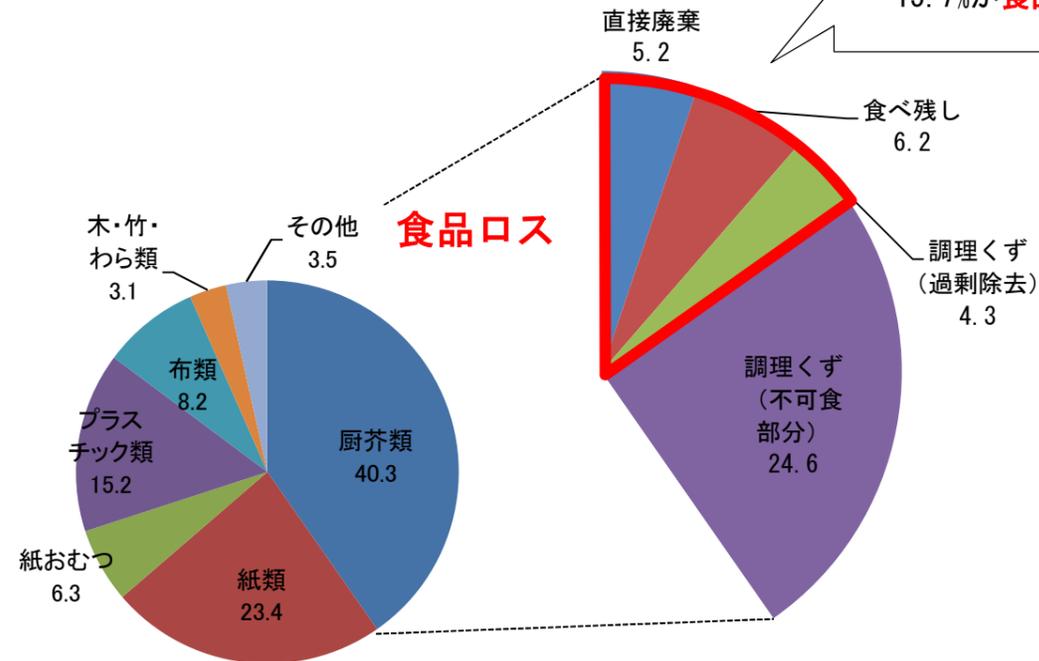
■ 全市推移



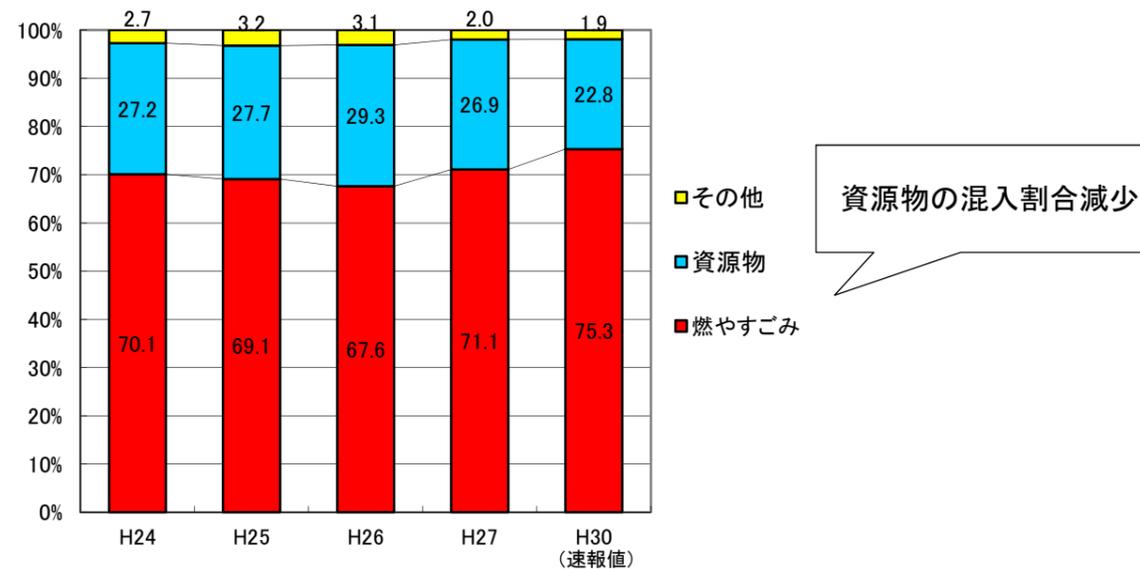
概ね変化なし
 ・厨芥類が約4割
 ・紙類が約2~3割

■ 燃やすごみに含まれる厨芥類の内訳

H30 調査より、厨芥類を細分化して調査・分類



■ 燃やすごみへの資源物の混入状況



資源物の混入割合減少

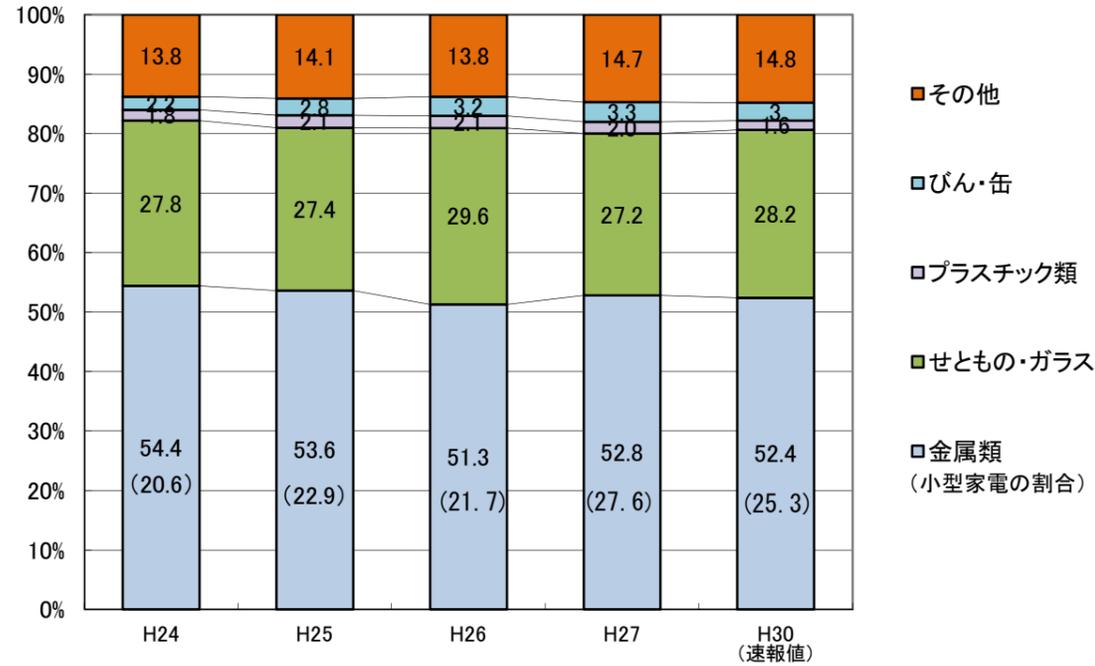
【食品ロスとは】

食品ロスとは本来食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品のことで、発生要因ごとに「直接廃棄」「過剰除去」「食べ残し」の3つに分類される。

- －直接廃棄：賞味期限切れ等により使用・提供されずに廃棄されたもの
- －食べ残し：食卓にのぼった食品のうち、食べ切れずに廃棄されたもの
- －過剰除去：不可食部分を除去する際に過剰に除去された可食部分（例えば、厚くむきすぎた野菜の皮など）

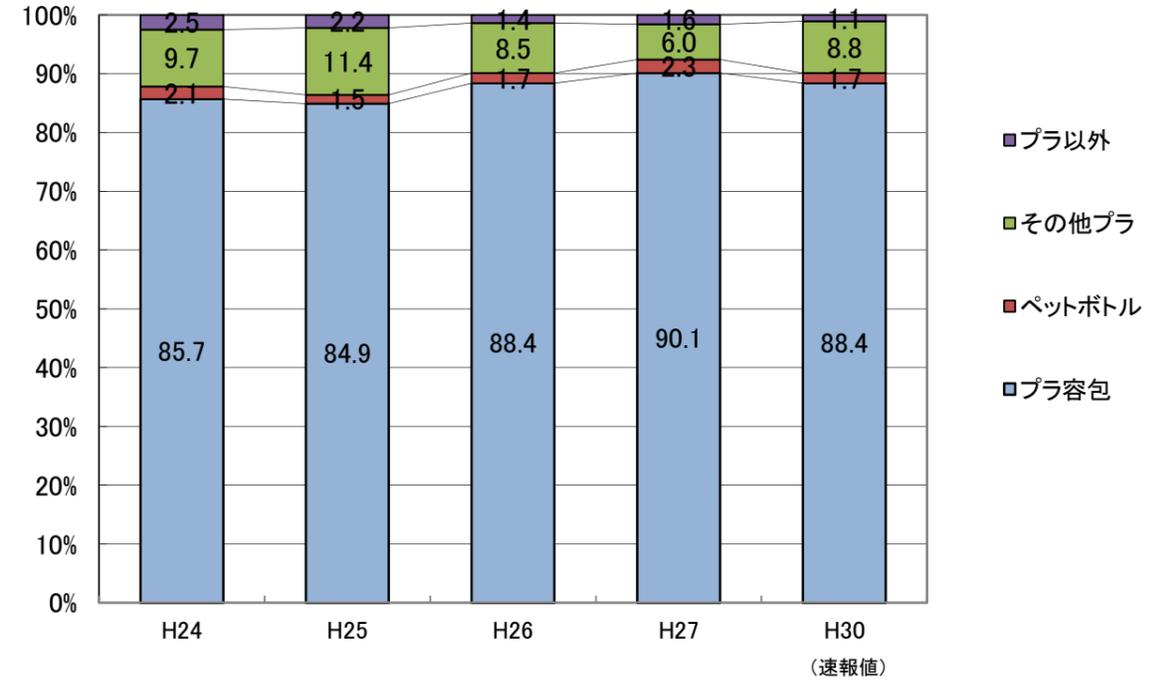
(2) 燃やさないごみ

■全市推移

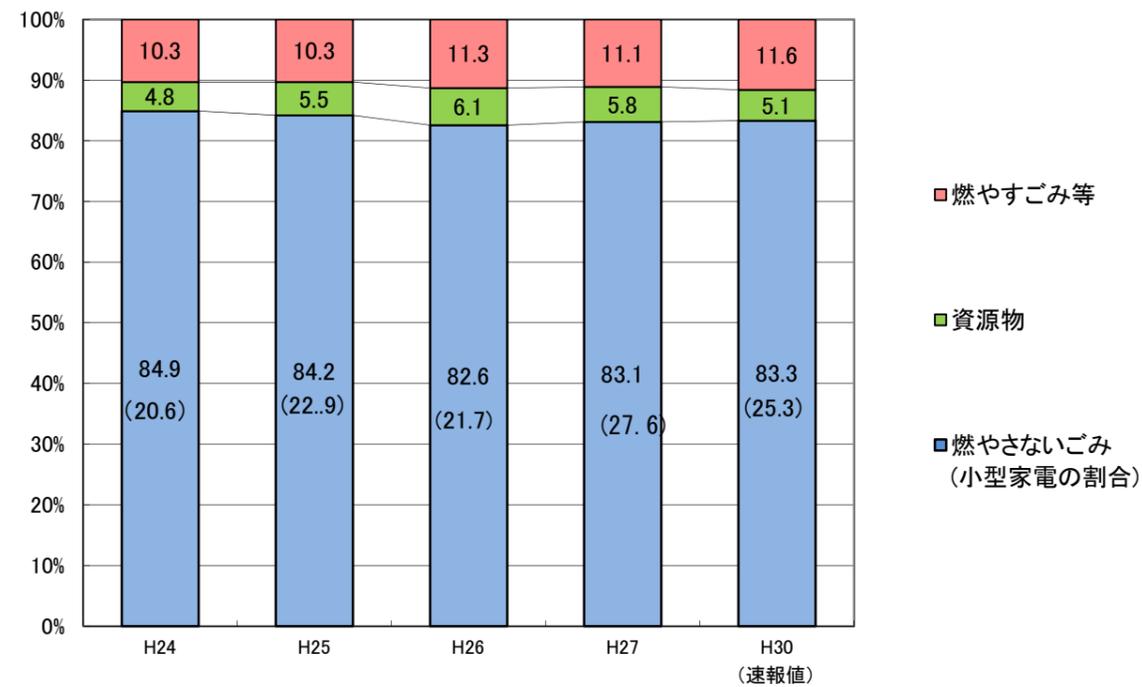


(3) プラマーク容器包装

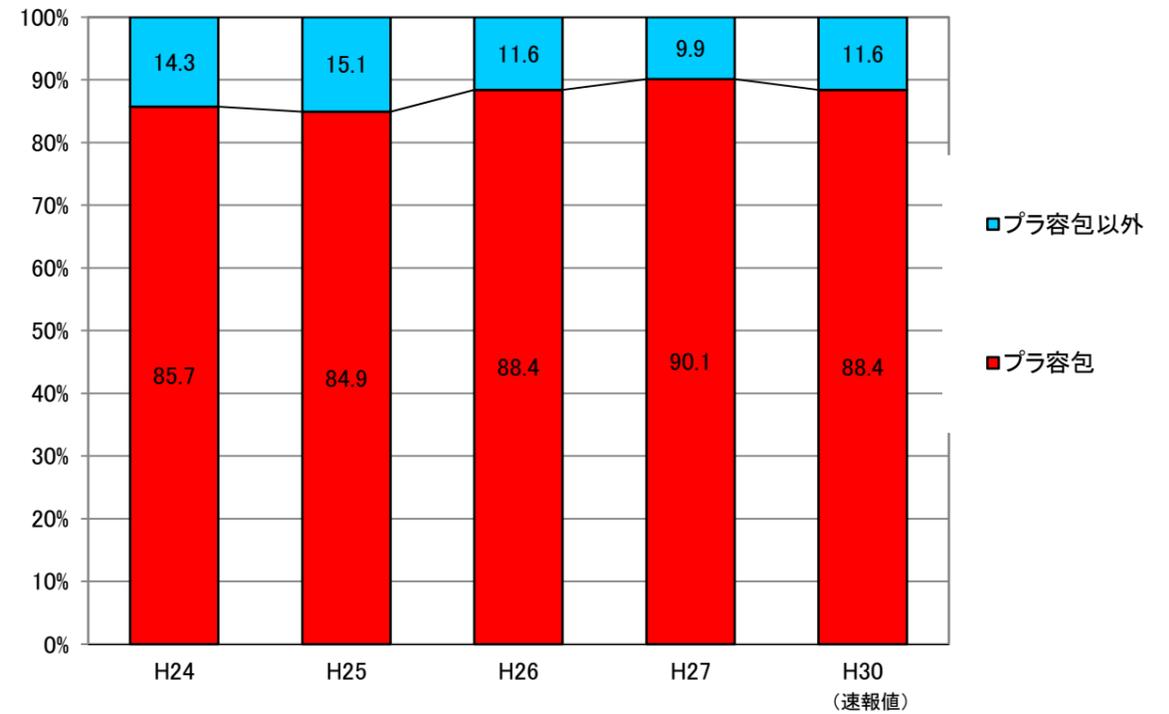
■全市推移



○資源物の混入状況



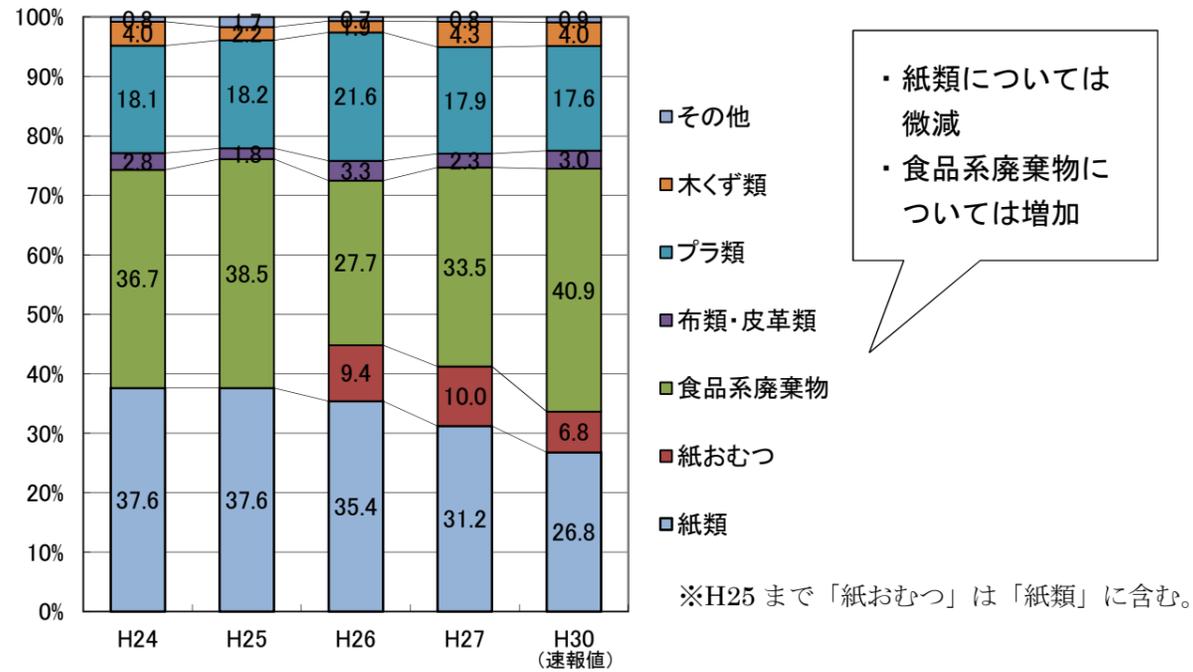
○分別の達成状況



2 事業系ごみ

(4) 許可可燃

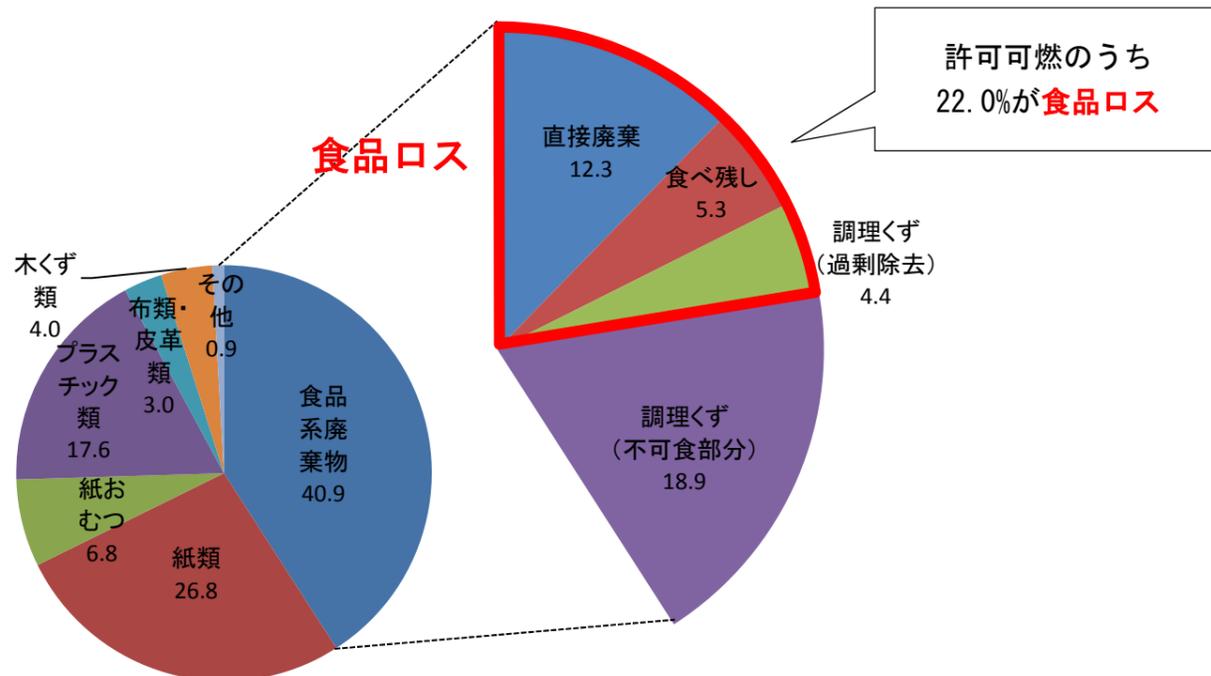
■全市推移



・紙類については微減
・食品系廃棄物については増加

■許可可燃に含まれる厨芥類の内訳

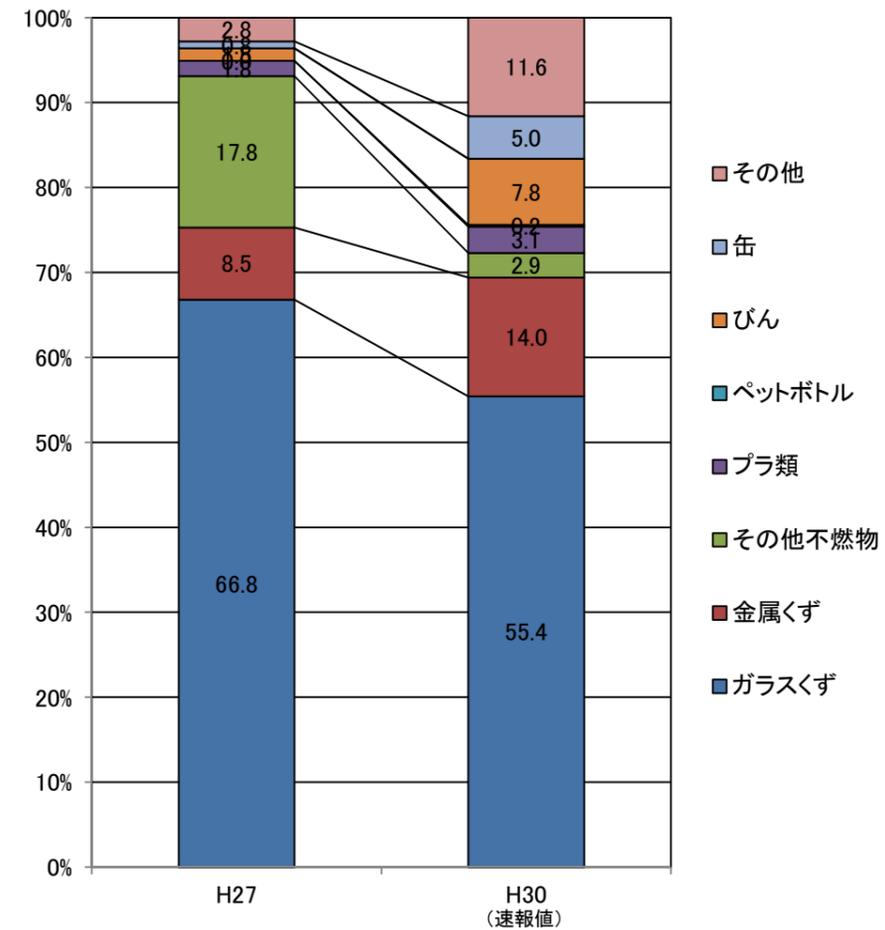
燃やすごみと同様、H30調査より厨芥類を細分化して調査・分類



(5) 許可不燃 (参考値)

- ・許可不燃については、H27年度の事業系ガイドライン本格実施以降、資源物や産業廃棄物の分別が進んだ結果、清掃センターへの搬入が減少した。それに伴い、調査検体の重量が激減しており、H26年度以前の調査結果とは比較ができない。
- ・検体の重量が非常に少量のため、調査結果にばらつきが出やすい傾向にある。

■全市推移



・缶およびその他不燃物については増加、それ以外のものについては減少